



にいがた映画塾通信

第二号(九八秋)

編集・発行
にいがた映画塾

〒950-0086
新潟市花園2-3-2 飛鳥ビル1F
電話・ファクス025-243-5653
(in out内)

応募作28本 昨年の倍

22日・インディーズ映画祭

ゲストに風間志織監督

映。さらに「にいがた映画塾」の第二期三本に、一日で一気に入映すると第三期卒業作品三本も初めて一般にお披露目す

CHOROL TERROR (七九年)、山川直

九月末日までの一般作品募集で、新潟県内のほかに「上映会当日、監督は会場に来ること」という規定にも関わらず、山形、愛知、東京などから応募があった。ビデオ、八ミリのほか、一六ミリも二本ある。このうち、にいがた映画塾関係の作品は二十一本。そのすべてが「撮り下ろし」だ。

人氏の「100%の女の子」(八三年)、浅野優子氏の「木の中刺す魚の気」(八五年)の四本。風間氏と、今回一般応募で出品している、ナシモトタオ氏の座談会も行う。

当日は午前十時開場、同十五分に上映がスタートする。終了予定時間は025 243 565 3(in out内)へ。入場料は当日千円、前売り八百円。問い合わせは「にいがた映画塾」電話

「あなたの映画みせてやれっ！」をキャッチコピーに、新潟のインディーズ映画の祭典「にいがたインディーズムービー・フェスティバル」が十一月二十二日(日)、新潟市万代の新潟市民映画館「シネ・ウインド」で開かれる。二回目となつた今回は、第一回の十四本をはるかに上回る二十八本の作品が集まった。

このほか特別ゲストに映画作家の風間志織氏を招くほか、ぴあフィルムフェスティバル(PFF)

インディーズムービー・フェスティバル 映画塾関係の上映作品

表の見方は時間、作品、監督名、卒業期などの順

- 12:20ごろ 狩る男(佐藤広一=3期=)
- 13:45ごろ ごきぶりゴローの危機一髪(白木栄美子=3期=) 土曜の夜(結城綾子=3期=MIME) 血沸き肉踊る(大橋健一=3期=) 京子=予告編=(小林優子=2期=) ラブリー・ラブリー(更科ヒトシ=1期=)
- 15:05ごろ 第2期にいがた映画塾作品(3本) 第3期にいがた映画塾作品(3本)
- 16:05ごろ 夏のセシル(石川浩之=3期=)
- 17:00ごろ HENSHIN~第一画章~/「創世記」(inout) HENSHIN~第二画章~/「フックにくら」(Shanon=1期=) HENSHIN~第三画章~/「ゴー・ストレイ」(ナシモトタオ=講師=) ごみの行方(吉田健明=スタッフ=)
- 18:35ごろ Girlsパンチ(柄沢優子=3期=) クロアチアの大地に(宮川直子=1期=)
- 20:00ごろ 鬼ごっこ(真保巖=3期=) 映画を作る(矢部孝男=スタッフ=) レントゲンX(長澤忍=1期=)
- 21:15ごろ an empire builder(天神妖詔=2期=) 毛布(井上朗子=2期=) 髪(小池博子=3期=) 感染(新谷豪志=3期=) Skip(五十嵐政人=スタッフ=) (時間変更の場合もあります)

ワタシノ映画 見テクダサイ

ジョンさん来塾



ジョンさんはアイオワ大、パリ・ソルボンヌ大で映画を学び、卒業後はALT(英会話補助教員)などで青森県に五年間生活、日本語は堪能だ。帰国後はシラキーズ大で映像制作の修士を取得している。

映画塾事務所です。十月十七日、新潟市在住の米国の映画作家を迎えて上映会が開かれた。「ワタシノ映画見テクダサイ」。訪れたのはジョン・ストロウター・ケアンズさん「写真」。新潟で映画を撮りたくて、機材を借りられるところを探していたらウイ

前に、上映した作品は十六ミリ二本とビデオ一本。昨年、卒業制作で撮った作品は、プロの役者と舞台演出家の協力を得て(ジョンさんの奥さんも出演)、コミュニケーション障害の男が主人公。虫眼鏡を使ったショットが印象的だった。映画塾に困りはなし。

